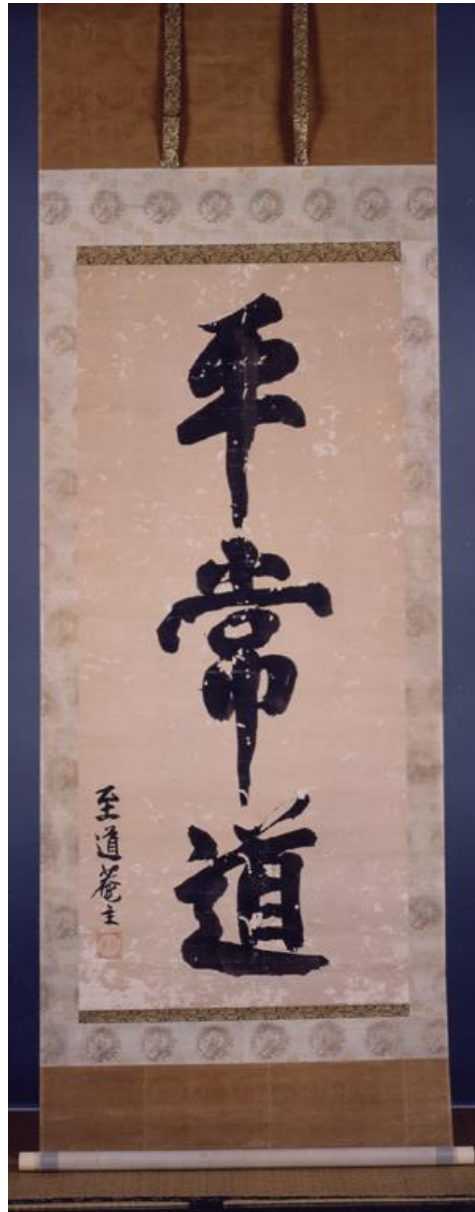


し どう ぶ なん ひつ      へい じょう どう  
至道無難筆 「平常道」



△至道無難筆「平常道」

恵端禅師の師・至道無難の筆で、明治25年（1892）5月10日に、当時の正受庵住職・吉田瑞雲が上京の折、東北寺の白潜和尚から正受庵に寄贈されたものである。